

# 一般社団法人 日本口腔顔面痛学会 2024 年度事業報告書

自 2024 年 9 月 1 日 至 2025 年 8 月 31 日

一般社団法人 日本口腔顔面痛学会は、口腔顔面痛学に関する研究の進展及びその臨床応用についての研究発表、知識の交換、会員の生涯学習の援助並びに会員相互及び内外の関連学会との連携協力を行うことにより口腔顔面痛学の進歩普及を図り、我が国の学術の発展に寄与すると共に国民の健康と福祉の向上に貢献することを目的とする（定款第3条）。

これらの遂行のために、2024 年度（2024/9/1～2025/8/31）に以下の事業を実施した。

## 1. 学術大会の開催

### 第 29 回学術大会

2024 年 11 月 29 日（金）～12 月 1 日（日）の 3 日間、第 29 回一般社団法人日本口腔顔面痛学会学術大会（大会長：福田謙一）を、東京歯科大学水道橋校舎新館にて開催した。メインテーマは「脳機能から、痛みを考える！」で、以下の特別講演、シンポジウム、リフレッシューズセミナーなどが行われた。参加者数は 344 名であった。

（以下、敬称略）

#### 教育講演 1

「臨床研究のすすめ」

座長：松香芳三（徳島大学大学院医歯薬学研究部顎機能咬合再建学分野教授）

講師：康永秀生（東京大学大学院医学系研究科臨床疫学・経済学教授）

#### 教育講演 2

「慢性疼痛の脳内メカニズム」

座長：篠田雅路（日本大学歯学部生理学講座教授）

講師：倉田二郎（東京慈恵会医科大学医学部麻酔科学講座教授）

#### 教育講演 3

「歯痛の細胞分子生理学を再考する」

座長：岩田幸一（日本大学歯学部生理学講座特任教授）

講師：澁川義幸（東京歯科大学生理学講座教授）

#### 教育講演 4

「疼痛・鎮痛個人差の遺伝子メカニズム」

座長：村岡渡（川崎市立井田病院歯科口腔外科部長）

講師：池田和隆（公益財団法人東京都医学総合研究所依存性物質プロジェクトリーダー）

#### 特別講演 1（専門医研修 1）

「医療経済：医療 DX の事例、そしてその先へ」

座長：佐々木啓一（宮城大学学長）

講師：武藤真祐（株式会社地域ヘルスケア連携基盤代表取締役会長）

#### 特別講演 2（専門医研修 2）

「感染対策：ポストコロナにおける新興再興感染症に対応できる歯科院内感染対策の実践」

座長：小見山道（日本大学松戸歯学部クラウンブリッジ補綴学講座教授）

講師：泉福英信（日本大学松戸歯学部感染免疫学講座教授）

### シンポジウム 1

「痛覚変調性疼痛」としての口腔顔面痛を脳機能としてどう捉えるか？」

座長：小長谷光（明海大学歯学部病態診断治療学講座歯科麻酔学分野教授）

坂本英治（九州大学病院集学的痛みセンター講師）

「前頭前野脳波で評価する口腔顔面痛」

講師：坂本英治（九州大学病院集学的痛みセンター講師）

「痛覚変調性疼痛と内因性疼痛調節機能評価」

講師：大野由夏（明海大学歯学部病態診断治療学講座歯科麻酔学分野教授）

「口腔顔面領域の痛覚変調性疼痛を臨床から考える」

講師：河端和音（鶴見大学歯学部歯科麻酔学講座助教）

### シンポジウム 2

「痛みの受容、認知、行動そして中枢感作からマインドフルネスへー心理学、神経科学、看護学、その学際的連関へ」

座長：瀬尾賢司（新潟大学医歯学総合研究科口腔生命科学専攻顎顔面再建学教授）

照光真（北海道医療大学歯学部歯科麻酔科学分野教授）

「口腔顔面の慢性疼痛の神経科学」

講師：照光真（北海道医療大学歯学部歯科麻酔科学分野教授）

「慢性疼痛における心理的痛みの要素とその神経基盤」

講師：梅田聡（慶應義塾大学文学部心理学専攻教授）

「臨床におけるマインドフルネスに基づく介入の効果と実践について」

講師：朴順禮（慶應義塾大学看護医療学部専任講師）

### シンポジウム 3

「舌痛症の病態生理に迫る！ー脳画像研究から中枢作動薬の反応性までー」

座長：野間昇（日本大学歯学部口腔内科学講座教授）

豊福明（東京科学大学大学院医歯学総合研究科歯科心身医学教授）

「舌痛症と口腔セネストパチー；口腔症状と脳との「距離」から考える」

講師：豊福明（東京科学大学大学院医歯学総合研究科歯科心身医学教授）

「舌痛症における ADHD の診断と治療ーADHD 治療薬は脳機能と痛みを並行して改善するー」

講師：笠原諭（東京大学医学部附属病院麻酔科・痛みセンター特任臨床医）

「f-MRI による舌痛症の脳の疼痛反応について」

講師：篠崎貴弘（日本大学歯学部口腔内科学講座講師）

### シンポジウム 4

「ブラキシズムと脳機能」

座長：小見山道（日本大学松戸歯学部クラウンブリッジ補綴学講座教授）

島田明子（大阪歯科大学医療保健学部口腔保健学科教授）

「中枢をターゲットとした睡眠時ブラキシズムマネジメント」

講師：島田明子（大阪歯科大学医療保健学部口腔保健学科教授）

「中枢から考えるブラキシズムのメカニズム、そして、その意義」

講師：飯田崇（日本大学松戸歯学部クラウンブリッジ補綴学講座准教授）

「睡眠とブラキシズム」

講師：大倉一夫（徳島大学大学院医歯薬学研究部顎機能咬合再建学分野講師）

### 入門講座 1

「口腔顔面痛に必要な解剖学－神経編－」

座長：西須大徳（愛知医科大学病院疼痛緩和外科・いたみセンター助教）

講師：金銅英二（松本歯科大学解剖学講座教授）

### 入門講座 2

「口腔顔面痛に必要な生理学」

座長：臼田頌（慶應義塾大学医学部歯科口腔外科助教）

講師：黄地健仁（東京歯科大学生理学講座講師）

### 入門講座 3

「一般歯科臨床で役に立つ歯痛診断」

座長：大久保昌和（日本大学松戸歯学部有床義歯補綴学講座専任講師）

講師：和嶋浩一（元赤坂デンタルクリニック口腔顔面痛センター）

### 入門講座 4

「口腔顔面痛の治療で使用する薬物療法・漢方も使ってみませんか？」

座長：岡田明子（日本大学歯学部歯学科口腔内科学講座教授）

講師：山崎陽子（東京科学大学大学院医歯学総合研究科歯科麻酔学分野助教）

### リフレッシュコース 1

「口腔顔面痛における口腔機能管理の実際」

座長：前川賢治（大阪歯科大学欠損歯列補綴咬合学講座教授）

講師：島田淳（医療法人社団グリーンデンタルクリニック）

### リフレッシュコース 2

「口腔顔面痛とブラキシズム」

座長：築山能大（九州大学大学院歯学研究院歯科医学教育学分野教授）

講師：原節宏（日本歯科大学附属病院総合診療科顎関節症診療センター准教授）

### リフレッシュコース 3

「医療面接の重要性や認知行動療法について」

座長：土井充（広島大学大学院医系科学研究科（歯） 歯科麻酔学助教）

講師：渡邊友希（昭和大学歯学部歯科補綴学講座顎関節症治療学部門兼任講師）

### リフレッシュコース 4

「片頭痛の診断と治療、および頭痛専門医との医療連携の行い方」

座長：池田浩子（日野市立病院／静岡市立清水病院）

講師：井川雅子（静岡市立清水病院口腔外科）

## 教養講座

「歯痛と痛み制御の歴史と、歯科の教育・臨床の変遷」

座長：佐久間泰司（大阪歯科大学医療安全管理学／ペインクリニック専任教授）

「Bridging Old and New-吸入全身麻酔の発見と我が国の近現代歯科医学教育制度-」

講師：金子譲（東京歯科大学名誉教授）

「明治維新下の「口中科」はなぜ新興の「歯科」に敗れたのか」

講師：吉澤信夫（山形大学医学部元教授）

## 28 回大会優秀ポスターリレー講演

座長：佐藤淳（北海道大学歯学研究院口腔診断内科学教室准教授）

生田目大介（徳島大学大学院医歯薬学研究部顎機能口腔再建学分野助教）

「顔面領域の神経障害性疼痛における TG での IL-33 の役割の解明」

講師：池端陽介（日本大学歯学部生理学講座）

「咬筋痛に対する咬筋および三叉神経節における ADP の役割」

講師：澤田 憧（日本大学歯学部生理学講座/日本大学歯学部口腔外科学第Ⅱ講座）

「健康成人におけるアセトアミノフェンとロキソプロフェンナトリウムの内因性疼痛調節機構に及ぼす影響」

講師：大野由夏（明海大学歯学部病態診断治療学講座歯科麻酔学分野教授）

「歯を食いしはってがんはる」心理社会的因子とその結果としての下顎隆起との関連について」

講師：坂本英治（九州大学病院集学的痛みセンター講師）

「インプラント手術前後の痛みに関する主観的測定と疼痛破局的思考との関連性」

講師：中居伸行（医療法人インターメディカルなかい歯科）

## OFF 開業臨床医のためのコミュニティ(OCPD)症例相談シンポジウム

コーディネーター：山崎英子（山崎歯科クリニック）

「日常歯科臨床において遭遇する、歯原性および非歯原性歯痛 4 症例に対する多角的テーブルディスカッション～」

座長：木津真庭（鷹栖歯科・口腔外科）

症例 1：「連携した精神科医と特発性歯痛患者の関係が上手くいかず対応に苦慮した 1 症例」

ファシリテーター：和気裕之（みどり小児歯科）

演者：板橋基雅（いたはしデンタルクリニック）

症例 2：「歯内療法が終了したにもかかわらず、痛みを訴える患者の症例」

ファシリテーター：石井隆資（日本歯科大学附属病院総合診療科准教授）

演者：大塚友乃（山王病院歯科・インプラントセンター）

症例 3：「痛みと新義歯作製を訴え短期間に複数の歯科医院を受診する患者」

ファシリテーター：大久保昌和（日本大学松戸歯学部有床義歯補綴学講座専任講師）

演者：玉川敦子（鈴木歯科医院）

症例 4：「高齢者で認知症が疑われ、対応に苦慮している口腔顔面痛症例」

ファシリテーター：宮地英雄（こころのホスピタル町田）

講師：飯沼英人（風の杜歯科口腔顔面痛クリニック）、川田真由美（アップル歯科）

### ランチョンセミナー1

「ブラキシズムに対する表面筋電計の有用性」

座長：福田謙一（東京歯科大学口腔健康科学講座障害者歯科・口腔顔面痛研究室教授）

「表面筋電計の活用による“力のコントロール”の数値化とボツリヌス療法の未来」

講師：古畑梓（医療法人社団梓会古畑いびき睡眠呼吸障害研究所古畑歯科医院）

協賛：(株)PRSSJapan

### ランチョンセミナー2

「交番磁界治療器の基礎研究と臨床応用」

座長：倉田二郎（東京慈恵会医科大学医学部麻酔科学講座教授）

「交番磁界治療器(エイト®)の疼痛緩和機序」

講師：河野達郎（千葉大学医学部附属病院麻酔科特任教授）

「臨床での交番磁界治療器エイト®の使い方とその効果」

講師：松本園子（園ペインクリニック）

協賛：(株)P・マインド

### ランチョンセミナー3

「口腔内及び頸肩部上肢への接触刺激が口腔顔面痛を改善する可能性についてー鍼灸師の立場からツボ（経穴）の効果を考察するー」

座長：安陪春菜（りゅう歯科クリニック）

講師：鍋田智之（森ノ宮医療大学医療技術学部鍼灸学科附属鍼灸臨床センター所長／教授）

協賛：(株)東洋レジン

### ランチョンセミナー4

「光線療法の基礎と口腔顔面痛に対する新型赤外線治療の臨床的効果」

座長：花岡一雄（医療法人社団實理会東京八重洲クリニックペインクリニック内科）

「光線による細胞への生物学的影響：Photobiomodulation について」

講師：井手康雄（埼玉医科大学医学部客員教授）

「新型近赤外線治療の臨床的有用性」

講師：福田謙一（東京歯科大学口腔健康科学講座障害者歯科・口腔顔面痛研究室教授）

協賛：(株)東京医研

### ハンズオンセミナー1

「エコーガイドを用いた筋・筋膜性疼痛治療」

コーディネーター：

左合徹平（九州歯科大学附属病院歯科麻酔科・ペインクリニック教授）

椎葉俊司（九州歯科大学附属病院歯科麻酔科・ペインクリニック准教授）

協力：(株)富士フイルムメディカル

### ハンズオンセミナー2

「超音波併用筋膜リリース」

コーディネーター：

山崎英子（医療法人和英雅会ルアナデンタルクリニック口腔顔面痛外来）

和嶋浩一（元赤坂デンタルクリニック）

協力：(株)伊藤超短波

### ハンズオンセミナー3

「臨床ですぐに活かせる筋触診とトリガーポイントインジェクション（初級）」

コーディネーター：

野口智康（東京歯科大学口腔健康科学講座障害者歯科・口腔顔面痛研究室臨床講師）

協力：(株)サンスター

### ハンズオンセミナー4

「口腔顔面痛に対する鍼治療」

コーディネーター：

山元宏允（東京歯科大学口腔健康科学講座障害者歯科・口腔顔面痛研究室）

野口智康（東京歯科大学口腔健康科学講座障害者歯科・口腔顔面痛研究室臨床講師）

協力：(株)東洋レジン、(株)セイリン

### スイーツセミナー

「次亜塩素酸のトリセツー効果的な院内感染予防と衛生管理のための正しい選択と使い方」

座長：福田謙一（東京歯科大学口腔健康科学講座障害者歯科・口腔顔面痛研究室教授）

講師：亀田剛（日本歯科大学新潟生命歯学部歯科矯正学講座講師）

共催：(株)スカイレインボー

## 2. セミナーの開催（セミナー企画運営委員会）

### 1) 口腔顔面痛臨床推論実習セミナー

【会期】2024 年 9 月 8 日（日）9:45 ～17:00

【会場】慶應義塾大学信濃町キャンパス新教育研究棟（東京都新宿区信濃町35番地）

【参加者】16名

### 2) 口腔顔面痛治療実践セミナー

【会期】2024 年 10 月 6 日（日）9:00 ～16:00

【会場】九州大学歯学研究院 研究棟 講義室AB（福岡市東区馬出3-1-1）

【参加者】19名

### 3) 口腔顔面痛精神医学セミナー

【会期】現地：2025 年 1 月 12 日（日） 10:15～16:00

オンデマンド：2025 年 2 月 5 日～2025 年 4 月 6 日

【会場】広島大学歯学部大講義室およびオンデマンド配信

【参加者】56 名（現地 27 名、オンデマンド 29 名）

### 4) 口腔顔面痛ベーシック WEB セミナー

【会期】2025 年 7 月 1 日（月） ～9 月 30 日（火）

【会場】WEB 開催（期間中のオンデマンド動画視聴）

【参加者】53 名（2025 年 9 月 25 日時点）

（神経障害性疼痛関連学会合同シンポジウムは6. 2）参照）

### 3. 学会誌（学会誌編集委員会）

第 17 巻 1 号を 2025 年 3 月に冊子体およびオンラインにて発刊した。

### 4. 専門資格

#### 1) 口腔顔面痛専門医、指導医、認定医の認定（専門医等認定委員会）

指導医、専門医、認定医試験を 2025 年 5 月 25 日（日）に行った。指導医、専門医、認定医更新審査、研修施設審査を随時メール会議で行った。

合格者：指導医 2 名、専門医 7 名（うち筆記試験 4 名）、認定医 9 名

施設認定：3 施設

更新者（※）：指導医 1 名、専門医 1 名、認定医 10 名、研修施設等 31 施設

### 5. 研究の奨励および表彰

#### 1) 研究の奨励（優秀論文賞委員会）

日本口腔顔面痛学会誌（16 巻 1 号）に掲載された論文の中から、優秀論文を一編選出した。

優秀論文の筆頭著者に対し、日本口腔顔面痛学会総会・学術大会にて記念品と楯を贈呈した。

「三叉神経領域における炎症誘発痛覚変調性疼痛モデルを用いた前臨床薬効評価法」

矢島 愛美，加藤 総夫

#### 2) 優秀ポスター賞（ポスター賞推薦委員会）

第 29 回一般社団法人日本口腔顔面痛学会学術大会において優秀ポスター賞を選定した。

（以下、敬称略）

最優秀ポスター賞（基礎部門）

口腔顔面領域の神経障害性疼痛発症における三叉神経節 IFN- $\gamma$  シグナルの関与

小林桃代先生

日本大学歯学部口腔内科学講座

優秀ポスター賞（基礎部門）

口腔顔面の神経障害性疼痛発症に対する三叉神経脊髄路核吻側亜核（Vo）の役割

井手唯李加先生

日本大学歯学部補綴第 I 講座、日本大学歯学部生理学講座

最優秀ポスター賞（臨床部門）

口腔灼熱痛を呈する患者における中枢性感作と味覚閾値に関する横断研究

滝澤慧大先生

日本大学歯学部口腔内科学講座

優秀ポスター賞（臨床部門）

舌痛症患者の自律神経機能を瞳孔反応から定量的に評価する

岡安一郎先生  
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科歯科麻酔学分野

優秀ポスター賞（臨床部門）  
当科における口腔灼熱症候群、三叉神経痛患者の破局的思考および生活障害度の検討  
江副祐史先生  
東北大学歯学研究科顎顔面口腔再建外科学分野

優秀ポスター賞（臨床部門）  
舌の疼痛モデルに対する表面麻酔薬の効果  
榊 実加先生  
日本大学松戸歯学部解剖学講座

## 6. 国内交流事業

### 1) 国内疼痛系学会との交流（理事長）

痛みに関する課題の共有と方策について協議する目的で、日本疼痛学会、日本ペインクリニック学会、日本慢性疼痛学会、日本腰痛学会、日本運動器疼痛学会、日本ペインリハビリテーション学会、日本頭痛学会と設立した「日本痛み関連学会連合」を通じて、国内の疼痛団体と交流した。また以下の研究会が開催された。

第3回 痛覚変調性疼痛研究会

2025年7月27日（日） 10時00分 ～ 12時00分

国立オリンピック記念青少年総合センター（センター棟 セミナーホール）

当番幹事：村上 正人（国際医療福祉大学教授・山王病院心療内科部長）

主催機関：痛覚変調性疼痛研究会

事務局：三木 健司（大阪行岡医療大学 特別教授）

### 2) 神経障害性疼痛関連学会合同シンポジウム（セミナー企画運営委員会）

神経障害性疼痛関連学会合同シンポジウムを口腔顔面神経機能学会、日本口腔外科学会、日本歯科心身医学会、日本歯科麻酔学会、日本歯科薬物療学会（五十音順）と合同で開催した。

2025年3月9日（日）ZOOMによる講演配信とディスカッションのライブ配信で実施した。

2025年3月25日（火）～ 5月7日（水）後日オンデマンド配信を行った。参加者数は43名であった。

### 3) 国内渉外委員会

#### (1) 厚生労働省研究事業への参画（厚労部会）

厚労部会は「慢性疼痛診療システムの均てん化と痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究」への参画として

- ①日本いたみ財団が運営するWebサイト上にアップされるセミナー情報を会員向けに広報した
- ②委員は各地で開催されるセミナーに参加し、主催者と交流をはかった
- ③同セミナー内で口腔顔面痛領域の講演枠をつくってもらえるように促した



(2) 地域部会は歯科医師会や市民を対象とした講演の仕事を請け負う仲介をした

#### 4) その他（理事長）

本学会の目的達成のため、国・官公庁、国内外の医歯学・医療関係団体との協力、協議を行った。

- ・日本歯科医学会
- ・日本歯学系学会協議会
- ・日本歯科医学会連合
- ・日本痛み関連学会連合                      他

### 7. 国際交流事業（国際交流委員会）

#### 1) 国際交流事業

(1) 国際疼痛学会（International Association for the study of Pain: IASP）および Special Interest Group of Orofacial and Head Pain との交流。

(2) アメリカ口腔顔面痛学会（American Academy of Orofacial Pain: AAOP）との交流。

(3) アジア口腔顔面痛学会（Asian Academy of Orofacial Pain and Temporomandibular Disorders: AAOT）との交流。

(4) 国際歯科研究学会（International Association for Dental Research）の神経科学グループ（Neuroscience Group）および International Network for Orofacial Pain and Related Disorders Methodology (INFORM)との交流。

(5) その他

#### 2) 国際学会発表支援事業

(1) 英語プレゼンテーションメンター制度

### 8. 歯科医療の向上のための事業

#### 1) 診療ガイドライン（ガイドライン作成委員会）

特発性口腔顔面痛(PIDAP)の診療に関する scoping review の作成のため、Patient, Concept, Context (PCC)の決定、検索式作成、論文検索、タイトル・アブストラクトスクリーニング、そしてフルテキスト分析のための文献収集までを行った。

#### 2) 口腔顔面痛教育シラバス（シラバス委員会・用語検討委員会）

米国において Orofacial Pain が 12 番目の Dental Specialty に認定されたことから、我が国における口腔顔面痛学教育の充実と口腔顔面痛専門医の歯科専門医機構による認定に向けて、引き続き世界の卒前・卒後教育の動向について調査研究した。

#### 3) 社会保険（医療保険委員会）

令和 8 年度診療報酬改定①②に向けての調査、準備を行った。

(1) 医療保険関連事業：報告書作成時『口腔外科領域の周術期疼痛に対する三叉神経ブロック』の英文作成

(2) 医療保険関連事業：報告書作成時『末梢神経障害性疼痛の診断基準』の英文作成

\*JDSF-DSP2-2016-221-2 は平成 28 年度事業分

(3) 厚労省「ICTを活用した医科歯科連携等の検証事業」

＜第1回＞2024年10月7日（月）10:00-11:30

＜第2回＞2024年11月20日（水）13:00-14:30

＜第3回＞2025年1月30日（木）10:00-12:00

令和7年度医療技術評価提案書の提出を行った。

咀嚼筋圧痛検査

口腔顔面機能障害に対する近赤外線照射療法

口腔外科領域の周術期疼痛に対する三叉神経ブロック

4) 医療問題関連の活動（理事長）

種々の医療問題に関する見解の取りまとめと解決を行う。

5) ICTの導入

ICT活用推進委員会

(1) アプリのアップデート（3Dセキュアへの対応）

(2) 専門医・会員情報の管理

(3) Virtual Patientsの充実を図る。E-Learningを進める。

(4) 学術大会、セミナー準備

6) 精密触覚機能検査研修会事業（精密触覚機能検査研修委員会）

・精密触覚機能検査研修の普及と維持を目的とし、精密触覚機能検査研修協議会と連携して、研修活動を行った。

2024年度（2024年4月～2025年3月）の活動実績は下記の通り。

①2024年度第1回精密触覚機能検査研修会

【開催期日】2024年6月9日（日）11:00-13:00

【開催場所】福岡県歯科医師会館

【参加人数】23名

②2024年度第2回精密触覚機能検査研修会

【開催期日】2024年6月23日（日）13:00-15:00

【開催場所】広島大学歯学部大講義室

【参加人数】30名

③2024年度第3回精密触覚機能検査研修会

【開催期日】2024年7月6日（土）14:00～16:00

【開催場所】東京歯科大学水道橋校舎新館13階第1実習講義室

【参加人数】52名

④2024年度第4回精密触覚機能検査研修会

【開催期日】2024年7月14日（日）13:00～15:00

【開催場所】新潟県民会館第4会議室 ※第44回日本歯科薬物療法学会会期中の開催

【参加人数】17名

⑤2024年度第5回精密触覚機能検査研修会

【開催期日】2024年8月3日（土）15:00～17:00

- 【開催場所】北海道立道民活動センター かでる 2・7  
【参加人数】18 名
- ⑥2024 年度第 6 回精密触覚機能検査研修会  
【開催期日】2024 年 8 月 24 日（土）15：00～17：00  
【開催場所】岩手医科大学附属内丸メディカルセンター入院棟 9 階講義室  
【参加人数】11 名
- ⑦2024 年度第 7 回精密触覚機能検査研修会  
【開催期日】2024 年 9 月 27 日（金）16：30～18：30  
【開催場所】松本歯科大学 30 周年記念棟会議室（常念）  
【参加人数】20 名
- ⑧2024 年度第 8 回精密触覚機能検査研修会  
【開催期日】2024 年 10 月 25 日（金）17：00～19：00  
【開催場所】朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター2F 小会議室 203・204  
第 52 回日本歯科麻酔学会 総会・学術集会会場  
【参加人数】7 名
- ⑨2024 年度第 9 回精密触覚機能検査研修会  
【開催期日】2024 年 11 月 24 日（日）15:00～17:00  
【開催場所】THE POINT エキニア横浜：セミナールーム『4L』  
【参加人数】40 名
- ⑩2024 年度第 10 回精密触覚機能検査研修会  
【開催期日】2024 年 12 月 1 日（日）13：45～15：45  
【開催場所】東京歯科大学水道橋校舎新館  
【参加人数】22 名
- ⑪2024 年度第 11 回精密触覚機能検査研修会  
【開催期日】2024 年 12 月 14 日(土) 13：00～15：00  
【開催場所】日本大学松戸歯学部新校舎 セミナー室（1 階）  
【参加人数】11 名
- ⑫2024 年度第 12 回精密触覚機能検査研修会  
【開催期日】2025 年 1 月 26 日（日）13：00～15：00  
【開催場所】徳島大学歯学部 3 階講堂  
【参加人数】5 名
- ⑬2024 年度第 13 回精密触覚機能検査研修会  
【開催期日】2025 年 3 月 2 日（日）10：00～12：00  
【開催場所】大阪大学大学院歯学研究科弓倉記念ホール  
【参加人数】46 名
- ⑭2024 年度第 14 回精密触覚機能検査研修会  
【開催期日】2025 年 3 月 16 日（日）14：00-16：00  
【開催場所】愛知医科大学アメニティ棟（立石プラザ）4F 交流ラウンジ

【参加人数】20名

7) 日本歯科専門医機構認定専門医制度（歯科専門医機構関連制度検討委員会）

日本歯科専門医機構における専門医についての情報を専門医等認定委員会と共有し、学術大会時の歯科専門医共通研修の立案や、新たな機構認証歯科専門医のありかたを検討した。

8) 日本歯科医学会プロジェクト研究

- ・令和4年度日本歯科医学会研究費研究題名「口腔顔面痛診断補助ツールアプリケーションの開発とその臨床応用上での法的な整理」の実施（日本歯科医学会プロジェクト研究2022-B-5）。

- ・承認予算700万円（令和4年260万円、令和5年440万円）

- ・メンバー：研究代表者：松香芳三

研究分担者：臼田 頌、村岡 渡、小見山道、佐々木啓一、西須大徳、  
野間 昇、島田明子

- ・アプリケーションの開発と法的な問題点の抽出を行い、報告書を提出した。

9) 日本頭痛学会/ファイザー公募型医学教育プロジェクト助成

- ・医学教育プロジェクトへの助成グラント「片頭痛領域における医療の質を向上するための取り組み」に対して「歯科に来院する未治療片頭痛患者に対する頭痛専門医紹介システムの構築」の公募申請を行い採択された。当学会と日本頭痛学会との連携構築のためのプロジェクトが開始した。

- ・メンバー：井川雅子（プロジェクトリーダー）、村岡 渡、大久保昌和、小見山 道、  
松香芳三、池田浩子、渡邊友希、大塚友乃、工藤葉子、佐々木啓一

10) その他

9. 広報事業（広報委員会）

- 1) ホームページ保守・更新
- 2) ポスター2025作成
- 3) ニュースレター発行
- 4) セミナー委員会広報の支援
- 5) 非歯原性歯痛を中心に口腔顔面痛の国民・医療関係者への広報
- 6) セミナー掲示板作成

上記活動を行った。

10. コンプライアンス・ガバナンス

1) コンプライアンス順守（倫理委員会）

本学会が広くステークホルダー（患者、医療従事者、研究者、会員および社会）に貢献すべき重大な責務を負っていることを認識し、コンプライアンス順守活動を積極的に行った。

2) 会員の倫理向上（倫理委員会）

倫理委員会が所管する審議事項は生じなかった。

3) 会員の利益相反（利益相反委員会）

会員の利益相反開示が適切に行われる活動を行った。

4) 個人情報の管理（理事長）

学会の収集した個人情報を適切に取り扱う活動を行った。

5) 規定の整備・新規作成（規程検討委員会）

必要に応じて、各委員会から提案された各種規程の整備、および新規作成を行った。

6) その他

**1 1. 会議の開催（総務担当理事）**

2024 年度は以下の会議を実施した。

1) 理事会・評議員会

**2024 年度 第 1 回 定時理事会 2024 年 11 月 5 日（火）**

第 1 号議案 2023 年度事業報告案の承認（村岡総務担当理事）

第 2 号議案 2023 年度決算・監査報告の承認

（大久保財務担当理事、今村, 牛田, 佐久間監事）

第 3 号議案 新入会員の承認（村岡総務担当理事）

上記が承認された。

**2024 年度 第 1 回 定時評議員会 2024 年 11 月 29 日（金）**

第 1 号議案 2023 年度事業報告および承認の件（村岡総務担当理事）

第 2 号議案 2023 年度決算報告、監査報告および承認の件（大久保財務担当理事、各監事）

第 3 号議案 2026 年度学術大会長承認の件（村岡総務担当理事）

上記が承認された。

**2024 年度 第 1 回 臨時理事会 2024 年 11 月 29 日（金）**

第 1 号議案 2026 年度学術大会長（案）の選出（総務、学術大会運営検討部会）

第 2 号議案 退会に関する規定変更の件（大久保財務担当理事、佐藤規定検討委員会担当理事）

第 3 号議案 歯科専門医機構の社員学会への入会について

上記が承認された。

**2024 年度 第 1 回 臨時評議員会 2025 年 1 月 7 日（火）**

第 1 号議案 2027 年度学術大会長（案）の選出（総務、学術大会運営検討部会）

上記が承認された。

**2024 年度 第 2 回 定時理事会 2025 年 7 月 27 日（日）**

第 1 号議案 2025 年度事業計画案承認の件（村岡総務担当理事）

第 2 号議案 2025 年度予算案承認の件（大久保財務担当理事）

第 3 号議案 2024 年度新入会員の確認の件（村岡総務担当理事）

第 4 号議案 名誉会員・特別功労会員推挙の件（金銅担当理事）

上記が承認された。

**2024 年度インターネット理事会開催**

・第 1 回 2024 年 12 月 2 日 13:19 発議 - 2024 年 12 月 10 日 7:50 承認

第 1 号議案 2027 年度の学術大会大会長を選任することの諾否

第2号議案 1で諾の場合、大野由夏先生を選任することの諾否  
上記が承認された。

- ・第2回 2025年2月13日 13:19 発議 - 2025年2月21日 16:54 承認

第1号議案 表彰制度について

第2号議案 ポスター賞 申し合わせについて

上記が承認された。

- ・第3回 2025年7月7日 2:28 発議 - 2025年7月18日 10:53 承認

第1号議案 専門医等認定試験結果について

上記が承認された。

- ・第4回 2025年7月18日 14:23 発議 - 2025年7月27日 9:08 承認

第1号議案 研修施設等更新、専門医等更新について

上記が承認された。

- ・第5回 2025年8月14日 19:02 発議 - 2025年8月20日 11:18 承認

第1号議案 第35回日本口腔内科学会・第38回口腔診断学会との合同シンポジウムについて

上記が承認された。

## 2) 各委員会

本学会が目的とする事業を達成するため、各委員会を開催した（インターネット開催を含む）。

## 1 2. 本学会の社会的地位向上のための活動（理事長）

### 1) 広告のできる専門医

広告のできる専門医の資格取得のため、会員の増加を図った。

### 2) 日本歯科専門医機構（専門医機構申請準備委員会）

同機構について情報収集をした。

## 1 3. 会員の顕彰

### 1) 名誉会員の推挙（理事長）

本学会の発展のために特に顕著な功績のあった会員の検討を行い、以下4名が推挙された。

井川雅子（静岡市立清水病院口腔外科／井川歯科医院）

石垣尚一（大阪大学大学院歯学研究科）

小谷順一郎（大阪歯科大学麻酔科名誉教授／泉田歯科医院）

佐久間泰司（大阪歯科大学歯学部医療安全学）

（敬称略）

## 1 4. 会員数

（2025年8月31日現在）

1. 正会員 876名（増81名<sup>(\*)</sup>、減35名<sup>(\*)</sup>）うち44名は準会員からの振替

2. 準会員 73名（増22名、減44名）

3. 法人会員 0社

4. 名誉会員 11 名（±0）

会員数合計： 960 名（前年比 24 名増）

#### 15. その他

その他、目的達成のために必要と認められる事業を行った。

以上